

施策番号 5-3-2	施 策 名	国際・地域間交流の推進	基本目標	住民と行政がともに考え未来へつなぐ自治のまちづくり		
			政策名	魅力を活かした、活気あふれるまちづくり		
	主 管 課	魅力創造課	課長名	西田 昌樹	内 線	233
	施策関係課	教育推進課				

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象		意図				結果	
友好都市との交流による人材育成と交流を通して得られる情報をまちづくりに活かします。		町民・交流都市の住民		友好都市との交流に参加し、異なる文化に触れ、情報を得ることによって、他地域の歴史・文化、まちづくりの手法などを学ぶことができる				交流を通じたさまざまな視点と情報の連携によるまちづくりを進める	
成果指標	説明	単位	策定時(基準値)	2023年度実績	2024年度実績	2025年度実績	2026年度実績	2026年度目標	
① 他都市(トレーシー市・広尾町・揖斐川町)との友好・交流提携の事実を知っている町民の割合	住民意識調査	%	トレーシー 68.5 広尾 41.5 揖斐川 58.3 (R3)	トレーシー 63.5 広尾 53.4 揖斐川 59.8				トレーシー 75.0 広尾 50.0 揖斐川 65.0	
②									
③									
成果指標設定の考え方	コロナ禍で交流事業は停滞していたが、トレーシー市、広尾町は前期の目標値と同値に設定。揖斐川町は前期の目標値を超えていることから、年1%向上を目途に目標値を設定。								

2. 施策の事業費

	策定時決算	2023年度決算	2024年度決算	2025年度決算	2026年度決算
施策事業費（千円）	9,205	621			

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察				
①2023年度の成果評価 (基準年との比較)	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上した <input type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	国内の交流事業については、既存の事業以外にも、新たなPRの場等を積極的に実施したため。	
②第5期総合計画後期実施計画(2026年度)の最終的な目標達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標は達成できる	根拠(理由)	国内の交流事業は、今後も両地域双方にとってメリットのあるものに仕立てることを目標に実施していく。 海外の交流事業は、R6から相互派遣が再開したことから、芽室町トレーシー市交流協会の活動支援を実施することで目標達成は可能と考える。	
	<input type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能			
	<input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい			
(2) 施策の成果評価に対する2023年度事務事業総括				
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	うみとやまのふれあい交流推進事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業		
	揖斐川町交流推進事業			
③事務事業全体の振り返り(総括)	広尾町との交流及び揖斐川町との交流事業は、本町において既存事業以外にPRの場を増やし、また民間同士のつながり、県人会活動の活性を求め事業実施・支援をした。トレーシー市との交流は、中学生の相互派遣が中断している中であっても、協会の積極的な活動を支援し、R6年3月に派遣が再開したことから、今後のさらなる積極的活動を目指すことができる。			

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果(計画策定時との比較)							
担当課 評価	国際交流はなかなか活発な動きはできなかったものの、その中でも、できる活動を進め、また国内交流は新たな交流の活動域を広げていること、併せて成果指標の結果から、総合的に前進と判断する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		

A: 実現した B: (後期実施計画策定時と比較して) 大きく前進した C: (後期実施計画策定時と比較して) 前進した
D: (後期実施計画策定時と比較して) 変わらない又は維持した E: (後期実施計画策定時と比較して) 後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<p>《 施策を取り巻く状況 》</p> <p>地域間交流の原点に立ち返り、総合計画でもうたっているとおり、その意義をしっかりと見出した施策の推進、成果が望まれる。</p> <p>《 今後の予測 》</p> <p>総合計画に記載のとおり、双方の人的交流から、双方の経済交流につなげるなど、その先の成果を見据え、新たな事業展開していく必要がある。</p>
この施策に対して住民・審議会・議会からどのような意見や要望が寄せられ、どのように改善したか。	<p>・北海道内で10自治体ほど台湾と友好都市を結んでいる。長いも等で経済交流もあり、芽室町も友好都市の締結を検討してはどうか。</p> <p>→ 事業による成果を念頭に、検討します。</p> <p>・広尾町との交流について、特産物の交流のほか、子どものバス学習など人的交流を深めていくべき。</p> <p>→ 人的交流については、担当課とも協議をしながら、その成果を念頭に、検討していきます。</p> <p>・高校生も交流を深める場を設けたほうがいい。</p> <p>→ 地域間交流は、過去に多くの芽室町の児童・生徒が派遣などで関わっていることから、OB・OGを含め、多くの方が関わって交流事業ができるようにしていきます。</p>

5. 施策の課題認識(現状の課題、第5期総合計画後期実施計画期間において新たに取り組むべき課題)

<p>・国内交流は、芽室町だけではなく、相手自治体にとってのメリットも重要であり、また同じ方針を共有し連動していくことも必要なことから、両自治体の担当部署との意見交換、共有しながら、双方にとってのメリット、地域間交流による成果を求めていく必要がある。</p> <p>・トレーシー市交流は、自治体間での交流だけではなく、両地域の協会同士のつながりが今後の交流事業の持続に重要なことから、協会同士の交流も支援していく必要がある。</p> <p>・その他の自治体、地域との交流も徐々に芽生えていることから、それらの活動の中でしっかりと成果を求めていく必要がある。</p> <p>・ゲートボールを通じた国際交流の継続、拡大も進めて行く。</p>
--

6. 経営戦略会議(庁内評価)

評価	担当課評価同様に、前進したとする。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	他の自治体の取り組みなどを知り、整理してください。ほか、5に記載の取り組みを進めてください。	A: 実現した B: (後期実施計画策定時と比較して) 大きく前進した C: (後期実施計画策定時と比較して) 前進した D: (後期実施計画策定時と比較して) 変わらない又は維持した E: (後期実施計画策定時と比較して) 後退した					

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	庁内評価同様に前進したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	<p>・収穫感謝祭で広尾町に出店してほしい。(以前行っていたことあり)</p> <p>・広尾町との交流を深めてほしい。</p> <p>・台湾との友好都市の締結の検討について、締結にこだわらなくとも生産者が現地に行くなどの機会を増やすことでも刺激になるのではないかな。</p>	A: 実現した B: (後期実施計画策定時と比較して) 大きく前進した C: (後期実施計画策定時と比較して) 前進した D: (後期実施計画策定時と比較して) 変わらない又は維持した E: (後期実施計画策定時と比較して) 後退した					